

労働政策審議会 点検評価部会

月例指標 (2011 年 1 月概況)

景気は、足踏み状態にあるが、一部に持ち直しに向けた動きがみられる。ただし、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。（「月例経済報告」1 月）

各指標の直近の実績については、先月に引き続き、概ね前年度比で目標値を上回って推移しているところであり、今後とも目標達成に向けた取組みを進めていく。

（各指標の概況）

- 就職率（常用）、正社員求人数ともに、4 月～11 月の累計実績が前年度同期を上回る実績となっている。
- 雇用保険受給者の早期再就職割合については、ハローワークの積極的な求人開拓、雇用保険受給資格者に対するきめ細かな就職支援等により、4 月～10 月の累計実績が前年同期を上回る実績となっている。
- 求人充足率（常用）については、充足数自体は増加（前年度比 8.0%増）しているものの、求人数も増加（前年度比 13.2%増）しているため、4 月～11 月の累計実績が前年同期を下回る実績となっている。
- ハローワークの職業紹介により正規雇用に結びついたフリーター等の数は、11 月末現在で約 20.3 万人となっており目標値まで約 2.7 万人となった。一月あたりの実績が概ね 2.5 万人前後で推移していることから、目標達成に向け、着実に実績を上げている。
- 障害者の就職状況については、雇用情勢が厳しい中、就職件数及び新規求職申込件数ともに上昇トレンドにある。就職率は、目標に向けて順調に推移しており、前年同期を上回る実績となっている。